

BOSE[®]



RoomMatch[®] RMS215

RoomMatch[®] RMS218

サブウーファースピーカー
設置と安全上のガイドライン



本製品は専門の施工業者による設置のみを対象としています。この度は SR システム用にボーズ® RoomMatch® サブウーファーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書は、一般的な固定設置システムにおけるボーズ RoomMatch® サブウーファーを対象に、基本的な設置と安全上のガイドラインを施工業者様に提供いたします。設置を開始する前に、本書をお読みください。



警告：全てのボーズ製品は、各地域、州、連邦、および業界の規制に従って使用する必要があります。各地の建築に関する条例や規制など、適用される全ての法律に従ってスピーカーとマウントシステムを設置することは施工業者の責任です。本製品を設置する前に、各地域の管轄官庁に相談してください。



警告：重量物の危険なマウントや天井吊り下げは、深刻な人身への危害および機器への損傷の原因となります。適用するマウント方法の信頼性を評価することは、施工業者の責任です。適切な部品および安全なマウント技術の知識を持つ専門の施工業者のみが、天井へのスピーカーの設置を行うことができます。

RoomMatch® サブウーファーの常設固定設置のガイドライン

本書に記載された設置情報は一般的なガイドラインに過ぎないため、全ての要件および事前注意事項について言及されているわけではありません。従って、本書を使用する場合は、誰でも全ての法的責任を負うものとし、実際に適用される全てのスピーカーアレイ設計およびマウント配置の安全性に対して明示的に責任を負うものとします。

1. 天井スピーカーを設置する際には、事前に資格を有した専門技術者が構造物への取り付けの位置と方法を承認し、建築に関する全ての条例と規制に従っていることを確認する必要があります。マウント面とマウント面に対するスピーカーシステムの設置方法が、システムの総質量に耐えられるだけの強度があることを確認してください。マウント面とブラケットに、システムの質量の 10 倍以上の強度があることを目安にします。
2. 信頼できるメーカーのマウントシステム部品を使用してください。また、使用するスピーカーシステムとその用途に適したマウントシステムを選択してください。入手可能であれば、ボーズのマウントアクセサリーを推奨します。カスタム設計のマウント部品や改造の設計内容と製造については、資格を有した専門技術者が検査確認をする必要があります。
3. ボーズ RoomMatch サブウーファーの天面、底面、および側面は、有資格者によるスピーカーの吊り下げを簡単にする M10 埋め込みナットが装備されています。SAE 規格 3/8" サイズのネジ類は使用しないでください。SI 規格のネジ類のみ使用してください。SI 規格クラス 10.9 (耐力規定済み) のネジ類または同等品を使用してください。(耐力規定済みでない) 規格外のネジ類は使用しないでください。スピーカー 1 台につき少なくとも 4 箇所の埋め込みナット吊り下げポイントを使用してください。
4. スピーカーを吊り下げるための埋め込みナットとしてハンドルを使用しないでください。**ハンドルは耐荷重設計ではありません。**
5. 組み立て後の耐振動性を確保するために、ロックワッシャーや取り外し可能なネジ緩み止め接着剤 (LOCKTITE® THREADLOCKER BLUE 242® など) を使用してください。
6. ネジ類は、埋め込みナットの 14 山以上に完全に締め込めるだけの長さがあるものを使用してください。短すぎるネジの使用は、危険な組み立ての原因となる場合があります。少なくとも 14 山全てが締め込まれていることを確認してください。
7. ネジ類の締め付けトルクは、35 フィートポンドから 40 フィートポンド (47 ニュートンメートルから 54 ニュートンメートル) です。ネジを締め付けすぎると、キャビネットに修復不可能なダメージを与え、組み立て後の安全性が損なわれる可能性があります。
8. 他のサイズや規格のネジに合わせるために、取り付けポイントの埋め込みナットを改造したり、ネジ切り加工したりしないでください。設置の安全性を損なうだけでなく、スピーカーに修復不可能な損傷を与える原因となります。
9. 落下防止ワイヤーを別途用意して使用してください。その際、マウントシステムとスピーカーの取り付けで使用していない荷重ポイントの埋め込みナットを使用して、落下防止ワイヤーを固定してください。各地域の規制によって要求されていない場合でも、落下防止ワイヤーの使用を推奨します。落下防止ワイヤーの適切な形状や設置については、有資格の専門技術者やリギングの専門家にご相談ください。



注意：設置されたスピーカーアレイには定期点検と日常保守を行い、正常な機能と安全な動作を確認してください。また、構造健全性に悪影響を与える可能性がある腐食やたわみなどがマウント部品と取り付け部品に発生していないかどうか点検してください。劣化した部品や損傷した部品は直ちに交換してください。



注意：スピーカーやマウント用アクセサリーを改造しないでください。不正な改造は、損傷、人身への傷害、死亡事故等の原因となる可能性があります。



注意：埋め込みナットに取り付けられた全ての吊り下げスピーカーとリギングの総質量が最大荷重制限 (RMS215 WLL = 231 kg (510 lbs) RMS218 WLL = 141 kg (312 lbs)) を超えないようにしてください。

安全上の留意項目

ご使用前に、下記の「留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです（左図の場合は分解禁止を意味します）。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●異常が発生したとき

警告	変なおいや音がしたときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、アンプの電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。
警告	内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く そのままの状態で使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにアンプの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検をご依頼ください。
注意	落としたり、キャビネットを破損したときは販売店に相談する そのままの状態で使用すると、落下してけがや火災、感電の原因となります。販売店に点検、修理をご依頼ください。

●設置、保管するとき

警告	総質量に耐える場所に取り付ける 取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などがけがの原因となります。
禁止	設置場所の確認 スピーカーを取り付ける際には、人が通る場所や、容易に触れる場所に設置しないでください。スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
禁止	塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない 腐食によりブラケットの強度が低下し、スピーカーの落下などの事故の原因となります。
禁止	本機の上や周囲に、小さな金属物を置かない 内部に金属片や異物などが落とさなさい。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。
専用金具を使用	スピーカーに対応した専用金具を使用 スピーカー取付けに金具を使用される場合は、スピーカーに対応した専用金具をご使用ください。対応外の金具や他社製の金具を使用すると、スピーカーの落下や破損の恐れがあります。
必ず実行	配線および取付け、取扱説明書に記載してある通りを行う 配線および取付けは、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線、取付けを間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。
禁止	不安定な場所に置かない ぐらついた台の上や傾いた所、振動する所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや事故の原因となります。
必ず実行	適切なボルト、ナット類を使用する 取付けネジは、スピーカーおよびブラケットの重量を確認した上で天井、壁の材質にあったものを選んで取り付けを行ってください。強度が足りませんとスピーカーの落下により、けがや事故の原因となります。
必ず実行	ネジは確実に締める 締め付けが弱かったり、奥まで締めこんでいない場合は、落下してけがの原因となります。
落下防止ワイヤーを使用	落下防止ワイヤーを使用する 落下防止ワイヤーは指定された場所が落下時に耐えうる場所（スピーカー本体およびブラケットの総質量の10倍）に確実に取り付けてください。強度が足りませんと、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
必ず実行	スピーカーコードは安全な場所に置ける スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に置かせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
分解禁止	本体のカバーを外したり、分解や改造をしない 火災や感電、けがの原因となります。内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。
安全な場所に保管	梱包袋は安全な場所に保管する 製品を梱包していた袋は、お子様の手の届かない安全な場所に保管してください。窒息などの事故の原因となります。
必ず実行	アンカーは必ず奥まで差し込む アンカーは必ず奥まで差し込んでください。また、アンカー用の下穴のサイズが大きすぎるとアンカーが効かず、スピーカーが落下して、けがの原因となります。アンカー用の下穴の深さとサイズは必ず守ってください。

●設置、保管するとき

注意	設置作業は専門業者へ 設置に関しては、専門の業者にご依頼ください。
必ず実行	2人以上で取り扱う 移動したり持ち上げたり運んだりする場合は、2人以上で取り扱ってください。1人で行うと、体を痛めたり本機を落としてけがの原因となる事があります。
必ず実行	転倒・落下防止の処置をする 転倒・落下防止の処置をしないと、落ちたり倒れたりして、けがや事故の原因となります。
注意	こみ、落下物に注意 ブラケットとスピーカーの隙間に、こみ、落下物などが入らないようにしてください。ブラケットにスピーカーの重量以上の力がかかり、落下などがけがや事故の原因となります。
禁止	高温の場所に置かない 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所、熱源のそばなど、温度が異常に高くなる場所に機器を設置・保管しないでください。過熱や部品の变形などにより、火災や感電の原因となることがあります。
禁止	ほこり、油煙、湯気、湿気、高温の場所に置かない ほこり、油煙、湿気、湯気、高温の多い場所や、直射日光の当たる場所、直接ライトが当たる場所、高温になる車の中などには置かないでください。故障の原因となります。
注意	けがに注意 スピーカーを高いところに設置される場合には、足下が不安定になりますので作業には十分ご注意ください。けがや事故の原因となります。
禁止	スピーカーコードを傷つけない スピーカーコードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したり、上に重い物を乗せたりしないでください。コードが破損して、火災や故障の原因となることがあります。
禁止	表面を変質させる素材を使わない アルコール、ベンジン、シンナー、あるいはスプレー式殺虫剤、消臭剤、芳香剤などの揮発性のものをかけないでください。外装の変質により、ブラケットが破損し、スピーカーの落下の原因となることがあります。

●使用するとき

警告	機器のそばに、ろうそく等の火がついているものを置かない 引火して火災の原因となります。
禁止	大音量で長時間続けて聞かない 大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンのご使用時にはご注意ください。
磁気材料使用	本機には磁気材料が含まれています

●注意

禁止	スピーカーにより掛ったり、ものをぶら下げたりしない スピーカーを取り付けた後、スピーカーにより掛ったり、ものをぶら下げたりして重量を掛けますと転倒や落下などで、けがや事故の原因となります。
禁止	長時間音が歪んだ状態で使用しない スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
必ず実行	定期的な点検をする 定期的にスピーカーとブラケットの設置状態を点検し、設置の安全性が保たれているかどうか確認してください。またスピーカーケーブルの配線状態や、音割れ・歪みの有無、破損・欠損等の異常がないかどうか点検してください。異常がある状態で使用すると、故障や事故の原因となります。
必ず実行	配線時は電源プラグをコンセントから抜く 電源プラグをコンセントに差したまま行くと、感電の原因となることがあります。
音を小さく	電源を入れる前には音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

その他 注意事項

- この設置ガイドは、施工業者様用です。
- 建築基準法や地域の条例、安全基準などを考慮して、設置場所や取付方法を決めてください。
- 取り付ける場所の強度を確認してください。取付面とブラケットに、スピーカー本体とブラケットを含めた質量の10倍以上の強度があることを目安にします。

製品仕様



注意：追加の仕様情報と設置情報については、pro.bose.com をご参照ください。

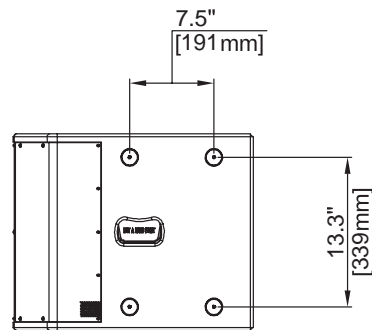
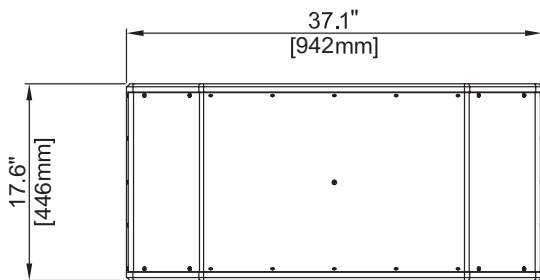
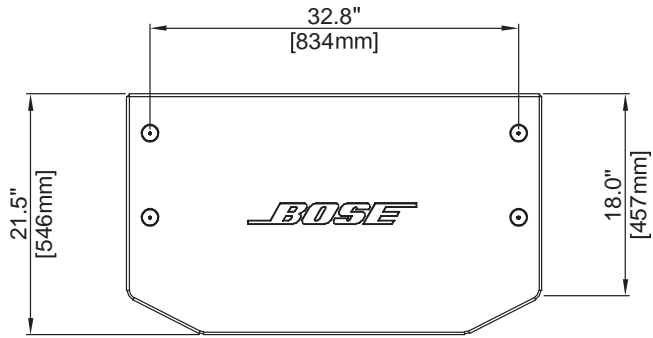
シングルモジュールパフォーマンス	RMS215 サブウーファー		RMS218 VLF サブウーファー			
周波数特性 (+/-3 dB) ⁽¹⁾	48 – 200 Hz		30 – 200 Hz			
周波数レンジ (-10 dB)	40 – 280 Hz		25 – 250 Hz			
推奨ハイパスフィルター	40Hz (最小 12dB/octave)		25Hz (最小 12dB/octave)			
指向角度	無指向性		無指向性			
推奨クロスオーバー	80 ~ 200 Hz (active, external DSP)		60 ~ 100 Hz (active, external DSP)			
許容入力	ボーズライフサイクル試験 ⁽⁴⁾		ボーズライフサイクル試験 ⁽⁴⁾		AES 部品試験 ⁽⁵⁾	
連続	1000W (500W/ ウーファー1本あたり)		1500W (750W/ ウーファー1本あたり)		2500W (1250W/ ウーファー1本あたり)	
ピーク	4000W (2000W/ ウーファー1本あたり)		6000W (3000W/ ウーファー1本あたり)		10000W (5000W/ ウーファー1本あたり)	
	アレイポジション (free field)	グラウンドスタック (half space)	アレイポジション (free field)	グラウンドスタック (half space)	アレイポジション (free field)	グラウンドスタック (half space)
感度 (SPL/1W @ 1m) ⁽²⁾	97 dB	103 dB	96 dB	102 dB	96 dB	102 dB
最大 SPL (計算値、@ 1m) ⁽³⁾	127 dB	133 dB	128 dB	134 dB	130 dB	136 dB
最大 SPL (計算値、@ 1m)、ピーク	133 dB	139 dB	134 dB	140 dB	136 dB	142 dB
ユニット構成						
低域	ボーズ LF15 long-excursion 15 インチウーファー × 2 (4.0 インチボイスコイル使用)		ボーズ LF18 long-excursion 18 インチウーファー × 2 (4.5 インチボイスコイル使用)			
インピーダンス	2 x 8 Ω (discrete connection per woofer)		2 x 4 Ω (discrete connection per woofer)			
物理特性						
エンクロージャー材質	18mm バルチックパーティ		18mm バルチックパーティ			
仕上げ	ポリウレタンコーティング塗装仕上げ		ポリウレタンコーティング塗装仕上げ			
グリル	スチール (18 gauge、パウダーコーティング仕上げ)		スチール (18 gauge、パウダーコーティング仕上げ)			
入力端子	Neutrik® NL4 (スピコン) × 2		Neutrik® NL4 (スピコン) × 2			
吊り下げ用アタッチメント	16 × M10 埋め込みナット (天面、底面、および両側面に 4 箇所)、および RoomMatch Array との統合用 RMSFLY キット (別売)		24 × M10 埋め込みナット (天面、底面、および両側面に 6 箇所)、および RoomMatch Array との統合用 RMSFLY218 キット (別売)			
寸法 (H × W × D)	446 × 942 × 546mm (17.6" × 37.1" × 21.5")		534 × 940 × 1055mm (21.0" × 37.0" × 41.5")			
質量	59.9kg (132lbs) /76.2kg (168lbs) FLY キット装着時		92.1kg (203lbs) /112.5kg (248lbs) FLY キット装着時			
梱包質量	143lbs ((64.9kg)		229lbs (103.9kg)			
製品コード、黒色仕上げ	330034-0110		344055-0110			
付属品	RMSFLY サイドプレートアレイリギングキット		RMSFLY218 サイドプレートリギングキット (369815-0110)			

脚注

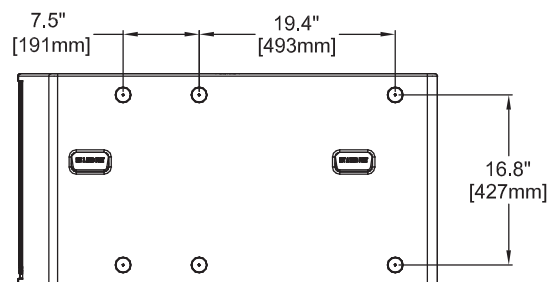
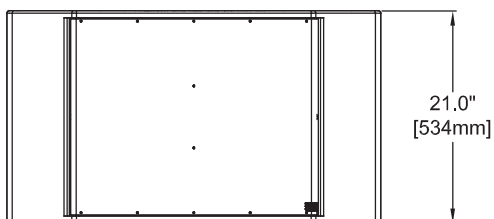
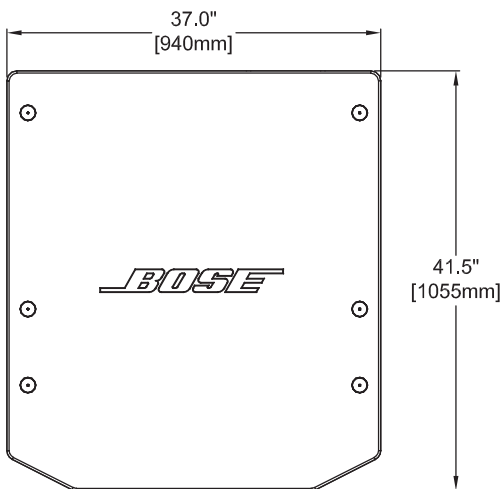
- (1) 周波数特性および周波数レンジは無響環境において軸上で、推奨バンドパスを使用して測定しています。
- (2) 感度は記載の境界条件で、20 ~ 200Hz までの平均を、1W/m に対して測定しました。
- (3) 最大 SPL は感度および電力処理仕様に基づき、電力圧縮を除外して計算しています。
- (4) Bose ライフサイクル試験では IEC268-5 に適合するようにフィルタリングされたピンクノイズ、6-dB クレストファクター、500 時間、最大電力を使用しています。
- (5) AES 標準部品電力処理試験：25 ~ 250 バンドパス、6-dB クレストファクター、2 時間のピンクノイズです。

製品の寸法

RMS215



RMS218



コネクターの接続方法

RoomMatch® サブウーファーには、Neutrik® NL4 コネクタが2つ装備されています。それぞれのコネクタは並列になっており、追加サブウーファーへのループスルー接続が可能です。コネクタは接続済みの状態で出荷され、以下の表のように各ウーファーに個別のアンプ出力を入力できます。

NL4 Connector Pin	Driver Bandpass Section
1+	Driver-1 positive
1-	Driver-1 negative
2+	Driver-2 positive
2-	Driver-2 negative



推奨アンプ出力

適切なアンプを選択するには、連続（RMS）の出力定格、入力音源のダイナミックレンジ、要求される音圧レベルやその他の要因の分析が必要です。一般的なガイドラインとして、RoomMatch サブウーファーの性能を最大限にするためには、以下のアンプ出力定格を推奨します。

RMS215 トランスデューサー	公称インピーダンス	アンプチャンネル	アンプ出力定格
ドライバー-1	8 Ω	1	500 ~ 1000W
ドライバー-2	8 Ω	2	500 ~ 1000W

RMS218 トランスデューサー	公称インピーダンス	アンプチャンネル	アンプ出力定格
ドライバー-1	4 Ω	1	1000 ~ 2000W
ドライバー-2	4 Ω	2	1000 ~ 2000W

Bose® PowerMatch® プロフェッショナル向けパワーアンプ

ボーズの PowerMatch プロフェッショナルアンプ（別売）は RoomMatch サブウーファーの推奨アンプ出力を簡単な設定によって提供することができます。また、複数のカージオイドバスアレイ設定などの推奨信号処理用にプリセットも提供されます。

推奨信号処理

DSP（Digital signal processing: デジタル信号処理）機器は、サブソニックプロテクト、クロスオーバー、およびプロテクションリミッターの各機能に必要です。DSP 機能はボーズの PowerMatch プロフェッショナルアンプに内蔵されています。さらに、Bose® ControlSpace® Engineered Sound Processor（別売）では、すべての RoomMatch スピーカー用にプリセットが提供されます。

他社製のアンプおよび信号処理機器を RoomMatch サブウーファーとあわせて使用する場合、以下の信号処理フィルターを推奨します。

サブウーファー	ハイパスフィルター	クロスオーバーポイント	クロスオーバースロープ
RMS215	40Hz, 12dB/octave	80 ~ 200Hz	24dB/octave
RMS218	25Hz, 12dB/octave	60 ~ 100Hz	24dB/octave

床または地面に据え付けられた RoomMatch サブウーファー

RoomMatch サブウーファーには、アレイリギング部品が付属しません。RoomMatch サブウーファーを床や地面に据え付ける場合には、サイドプレートアレイリギングキットは必要ありません。

注意：床または地面への据え付けで RoomMatch サブウーファーを縦に2台以上積み重ねる場合、サブウーファーは据え付けを行ったお客様が用意したブラケットまたはストラップでまとめて固定する必要があります。これを行わないと、下のサブウーファーから上のサブウーファーが落下し、重大なけがの原因となるおそれがあります。

ボーズのサイドプレートアレイリギングキットの RoomMatch サブウーファーへの取り付け

RoomMatch サブウーファーを吊り下げ型アレイのフルレンジモジュールに統合するには、別売のサイドプレートアレイリギングキットを以下のように取り付ける必要があります。

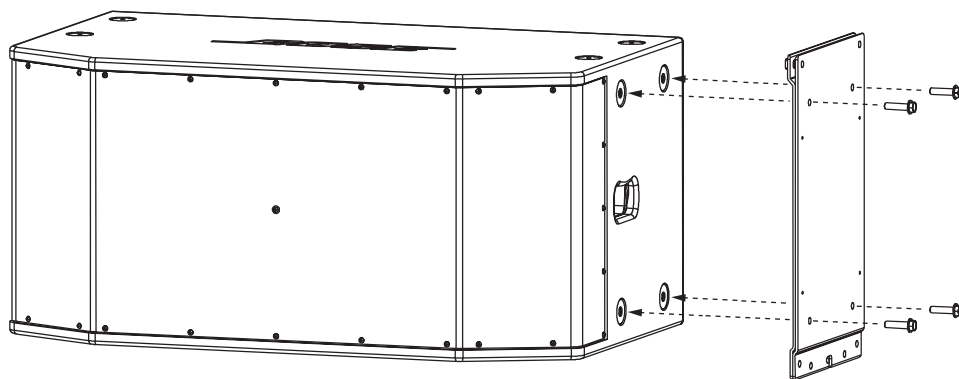
サブウーファー	FLY キットモデル名	FLY キット部品番号
RMS215	RMS SIDE PLATE (RMSFLY)	343856-0120
RMS218	RMS218 FLY KIT (RMSFLY218)	369815-0110

RoomMatch® サイドプレートアレイリギングキットを RoomMatch サブウーファーに取り付けるには、以下の手順に従って行います。

1. 輸送用ダンボールからサブウーファーを取り出し、梱包材を取り除き、目標とする吊り下げポイントの真下の床面にサブウーファーを置きます。
2. RMS215 では、#3 四角ビットを使用して、サブウーファーの左側と右側にある 8 つの埋め込みボルト (片側につき 4 つ) を取り外します。RMS218 では、#3 四角ビットを使用して、サブウーファーの左側と右側にある 12 つの埋め込みボルト (片側につき 6 つ) を取り外します。
3. 図 1 に示すように、M10 × 40mm のボルトをサイドプレートとサブウーファーの埋め込みナットへ差し込み、手で締めます。プレートの Left と Right の部品マークに注意してください。両方のサイドプレートを取り付けたら、サブウーファーをフルレンジアレイの他の RoomMatch モジュールに統合する準備は完了です。
4. 調整を容易にするために、サイドプレートを取り付けたサブウーファーを、アレイフレームやサブウーファーの下に取り付けて、手でボルトを締めてください。すべてのボルトを正しい場所に付けたら、締め付けトルク 35 フィートポンドから 40 フィートポンド (47 ニュートンメートルから 54 ニュートンメートル) で締め込みます。

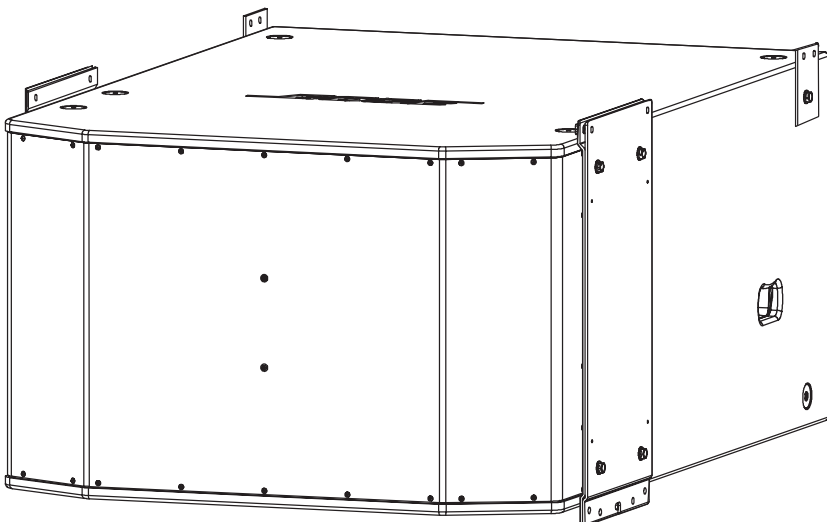
注意： U 字型の溝は上方向、突出型マウント用ボスはキャビネット、位置合わせ用スロット溝はスピーカーの前面に向くようにします。

図1. 付属ボルトを使用したサイドプレートの取り付け



5. RMS218 サブウーファーでは、サイドプレートアレイキットは、Short Extender Bar を「In」または「Out」位置に取り付けた状態で RoomMatch Large Array Frame に適合するように設計されています。RMSFLY218 サイドプレートは、Large Array Frame に取り付け可能な設計になっています。RMS218 サブウーファーの奥行きのため、同梱のリアストラッププレートを背面の埋め込みナットに取り付けることによりサポートポイントを追加する必要があります。図 2 を参照してください。リアストラッププレートは、アレイの設置時に Array Frame Short Extender Bar に取り付けます。詳細については、『RoomMatch Array Rigging Frames and Accessories Installation and Safety Guidelines』をご参照ください。

図2. サイドプレートとリアストラッププレートを取り付けたRMS218サブウーファー



注意：他の Bose® RoomMatch® Array Module に RMS215 または RMS218 サブウーファーを統合する際、仮設用専用ハンドル (RoomMatch フルレンジアレイモジュールに同梱) を左右の RMSFLY サイドプレート上部中央の穴に通すことで、サブウーファーモジュールの位置をアレイフレームまたはその他のモジュールと合わせてください。また、仮設用専用ハンドルは RMS215 サブウーファーの持ち上げや移動にも使用できますが、RMS218 サブウーファーの持ち上げや移動には使用しないでください。サブウーファーを配置し、最終的にボルトを締めて、アレイを吊り上げる前に、仮設用専用ハンドルを取り外してください。

RoomMatch アレイの設計と設置の詳細については、pro.Bose.com の Web サイトにアクセスして、『RoomMatch Array Design and Installation Guide』をご参照ください。または、本書の裏表紙に記載されたボーズの連絡先までお問い合わせください。

仕様書、技術文献、製品保証、部品 / アクセサリー、各国のサポートのお問い合わせ先などの詳細については、<http://pro.Bose.com/>をご覧ください。

アメリカ

(米国、カナダ、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ)
Bose Corporation
The Mountain
Framingham, MA 01701 USA
Corporate Center : 508-879-7330
Americas Professional Systems,
Technical Support : 800-994-2673

オーストラリア

Bose Pty Limited
Unit 3/2 Holker Street
Newington NSW Australia
61 2 8737 9999

ベルギー

Bose N.V. / S.A Limesweg 2, 03700
Tongerren, Belgium
012-390800

中国

Bose Electronics (Shanghai) Co. Ltd.
36F, West Gate Tower
1038 West Nanjing Road
Shanghai, P.R.C. 200041 China
86 21 6271 3800

フランス

Bose S.A.S
12 rue de Temara 78100
St. Germain-en-Laye, France
01-30616363

ドイツ

Bose GmbH
Max-Planck Strasse 36D 61381
Friedrichsdorf, Deutschland
06172-7104-0

香港

Bose Limited
Suites 2101-2105, Tower One, Times Square
1 Matheson Street, Causeway Bay, Hong Kong
852 2123 9000

インド

Bose Corporation India Private Limited
4th Floor, Shriram Bhartiya Kala Kendra
1, Copernicus Marg
New Delhi 110001, India
91 11 23073825

イタリア

Bose SpA
Via Della Magliana 87600148
Rome, Italy
066-5670802

日本

〒106-0032
東京都港区六本木1-4-5 アークヒルズ
サウスタワー13階
0570-080-021
www.bose.co.jp

オランダ

Bose BV
Nijverheidstraat 8 1135 GE Edam, Nederland
0299-390139

イギリス

Bose Ltd
1 Ambley Green, Gillingham Business Park
KENT ME8 0NJ Gillingham, England
0870-741-4500

その他の国のお問い合わせ先については、Web サイトをご覧ください。